

「認定社会福祉士に関する意識調査（アンケート調査）」報告書

本調査は、来年度（2018年度）に、認定社会福祉士誕生から5年目という節目を迎えるにあたって、認定社会福祉士の登録後の現状等を把握・確認することにより、認定社会福祉士制度の成果を分析・検証し、同制度の更なる普及・定着に向けた取組みの基礎資料とすることを目的として実施したものです。

本調査は、公益社団法人日本社会福祉士会認定社会福祉士登録機関が実施したもので、この度、認定社会福祉士登録機関運営委員会におきましてその調査結果を取りまとめましたので報告いたします。

なお、当結果につきましては、当初の案内のとおり認定社会福祉士に関する資料として、一般に公表することを予定しております。

【調査の概要】

1. 調査の名称

認定社会福祉士に関する意識調査

2. 調査の目的

認定社会福祉士の登録後の現状等を把握・確認することにより、認定社会福祉士制度の成果を分析・検証し、同制度の更なる普及・定着に向けた取組みの基礎資料とする。

3. 調査対象者

2017年7月1日現在、登録機関に登録されている認定社会福祉士全員
(計484名)

4. 調査の方法

質問紙法（アンケート形式）、配布及び回収は郵送法

5. 調査の基準日

2017年7月1日

6. 回答の実施期間

2017年7月15日から2017年7月31日まで。

対象者全員に礼状兼督促状（2017年7月24日付）を送付の上、2017年8月4日まで締切日を延長し、その日までに到着した分までを有効とした。

7. 回収数、回収率

有効回収サンプル数は、n. 352 回収率は、72.7%